

国労

蘇我運輸区分会ニュース

3月22日（火）13時～ 第4回執行委員会② 蘇我コミュニ講習室



不便さばかりが目立つこと

呆れたダイヤ改「正」

かつてダイヤ改「正」時には「毎年、社員の仕事はきつくなる」反面、利用者に対しては、いくつかの目玉商品が用意され、便利さをアピールすることが出来ていました。ここ数年は利用者にも平気で不便さや我慢を強いる施策の連続となっています。

その最たるものが、今回、特急の月間定期、回

かつてダイヤ改「正」
数券の廃止であります。
本当にこれが

便利なのか?!

その代わりに会社が用意したのが、駅ねっとでの指定席予約で「チケットレス、便利で簡単、35%引き（6月いっぱいまでのキャンペーン中は45%引き）で確実に指定席に座れます」という謳い文句で大々的に宣伝が始まりました。が、この

の時点で既にぼろが出ていました。別に指定席でなくても、いくらでも自由席に座れる現状で、更に月間定期や回数券を使い

続けてきた人にとっては、それがなくなることで大損となるのは先のA新聞の調査にもありましたが、子供でも分かることでもあります。ほとんど毎日予約を入れなければならず、スマホやパソコンを持っていない人、不慣れな人などは確実にこの施策から置いてけぼりにされるわけがあります。

この告知が一般客に始まったのと、現場社員が知ったのが同じタイミングというのも本当に腹の立つやり方です。案の定、年明け早々から苦情の嵐が始まりました。

そしてそして！ダイヤ改のごく数日前に新たな大問題が発覚しました。誰も知らなかった？

45%引きの限定枠

この始まりは、今月10日夜、当区車掌が下りの特急車内でダイヤ改後の平日となる14日朝の52Mの45%引きが限定枠に達し、予約できなかったという苦情を受けたことでした。空席は残ってるのに何故??と、本区に戻って調べてみたら指定4両の全席数254に対して、この45%枠は80程度しか用意されてないことが判明し

大騒ぎになりました。その後、職場から猛烈に抗議し、52Mに関しては若干数増やすことが出来ました。未だに限定枠数に関しては公にされてませんが、おそらく全席

数の半分というのが目安ではないかと考えます。あれだけ大々的に宣伝しておいて、こんな程度で良いのでしょうか。確かに広告には小さな文字で「席数限定」とありますが、はっきり言って悪徳商法に近いものがあると思わずにいられません。あの時、当区車掌がこの話を持って来なかったら、大混乱に陥っていたと思います。「便利でお得な駅ねつとをご利用下さい」と一生懸命放送し、悪徳商法まがいの片棒を担がされた私たちはいい面の皮でしかありません。現場社員も利用者も馬鹿にした今回の施策、今後の会社の行く末

みんなで労働組合に入りますよう！

も念めて心配です。(つづくよ)